



## CHAPTER 2

### 機能

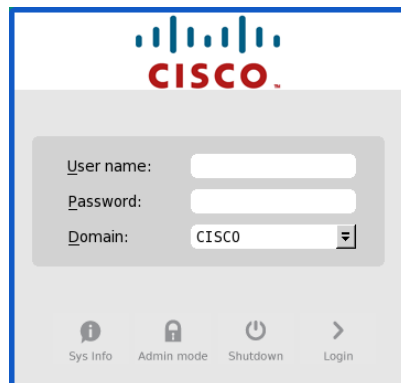
この章は、次の項で構成されています。

- 「[Login] ダイアログボックスの機能」 (P.2-1)
- 「システム情報へのアクセス」 (P.2-2)
- 「手動によるグローバル接続設定」 (P.2-2)
- 「その他の Cisco VXC デスクトップ機能」 (P.2-5)
- 「その他のクラシック デスクトップ機能」 (P.2-7)

## [Login] ダイアログボックスの機能

[Login] ダイアログボックスを使用すると、サーバにログインできますが、システム情報の取得、ゼロクライアントの設定、およびゼロクライアントのシャットダウンを行うこともできます。

図 2-1 ログイン



次のガイドラインに従ってください。

- [Sys Info] : [Sys Info] ボタンをクリックして [System Information] ダイアログボックスを開くと、システムバージョン、IP アドレス、ゼロクライアントに接続されているデバイスの情報、イベントログなどのゼロクライアントシステム情報が表示されます（「システム情報へのアクセス」 (P.2-2) を参照）。

- [Admin Mode] : [Admin Mode] ボタンをクリックすると、ゼロクライアントの各種設定をローカルに設定できます（ブローカ デスクトップ設定ではありません）。たとえば、「[Remote Connections](#)」(P.3-7) で説明する [Remote Connections] ダイアログボックスを使用すると、Citrix Xen ブローカ サーバ URL を手動で設定する（またはファイル サーバによって中央で定義された URL を上書きする）ことができます。



**ヒント** デフォルトでは、[Admin Mode] ボタンの使用にパスワードは不要です。wnos.ini ファイル内で AdminMode パラメータを使用することにより、[Admin Mode] ボタンをパスワードで保護（ログインクレデンシャルを要求）することができます（『*Cisco Virtual Experience Client 2112/2212 WTOS INI Files Reference Guide*』を参照）。

- [Shutdown] : [Shutdown] ボタンをクリックし、[Shutdown] ダイアログボックスを開いて使用すると、ログアウト、シャットダウン、再起動、工場出荷時のデフォルト設定へのシステム設定のリセットなどを行えます（「[ログオフとシャットダウン](#)」(P.1-6) を参照）。

## システム情報へのアクセス

[System Information] ダイアログボックスを使用すると、次のシステム情報が表示されます（クラシック デスクトップ : デスクトップ メニューで [System Information] をクリック。Cisco VXC デスクトップ : [Cisco VXC] ツールバーで [System Information] アイコンをクリック）。

- [General] タブ : システム バージョン、シリアル番号、ブート元、メモリ サイズ（合計と空き）、端末名、IP アドレス、ネット マスク、ゲートウェイ、および DHCP リースなどの一般的な情報が表示されます。
- [Devices] タブ : CPU 速度、ROM サイズ、モニタ、パラレル ポート、イーサネット速度、メモリ 速度、NAND サイズ、解像度、シリアル ポート、およびゼロクライアント MAC アドレスなど、デバイスに関する情報が表示されます。
- [Copyright/Patents] タブ : ソフトウェアの著作権および特許情報が表示されます。
- [Event Log] タブ : ゼロクライアントのスタートアップ手順（通常は最初にシステム バージョンからファームウェアのチェック）、または問題のデバッグに役立つエラー メッセージが表示されます。
- [Status] タブ : TCP パフォーマンス関連のパラメータ、CPU ビジー、システム稼働時間、空きメモリ、および DHCP リース時間の残りに関するステータス情報が表示されます。

## 手動によるグローバル接続設定

INI ファイルを使用して中央設定（グローバル接続設定）をユーザに提供しない場合は、（クラシック デスクトップの [Connect Manager]、または Cisco VXC デスクトップの [List of Connections] で）[Global Connection Settings] をクリックして [Global Connection Settings] ダイアログボックスを開いて使用し、接続リスト内のすべての接続に影響する設定を行います。



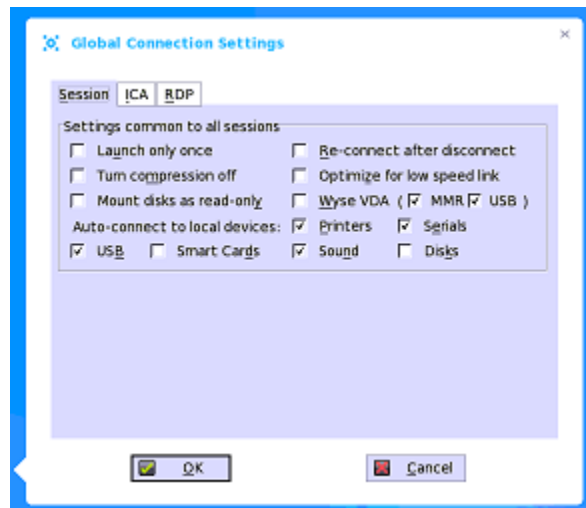
**ヒント**

INI ファイルを使用したゼロクライアントの設定（推奨）の詳細については、『*Cisco Virtual Experience Client 2112/2212 WTOS INI Files Reference Guide*』を参照してください。ダイアログボックスを使用したゼロクライアントのローカルな設定の詳細については、「[接続オプションの設定](#)」および「[ローカル設定オプションの設定](#)」を参照してください。

## [Session] タブ

図 2-2 に [Session] タブを示します。

図 2-2 セッション



[Session] タブを使用して、すべてのセッションで使用するオプションのチェックボックスを選択します ([Smart Cards] チェックボックスで、スタートアップ時にスマートカードリーダーに接続するためのデフォルト設定を指定します)。

### ヒント

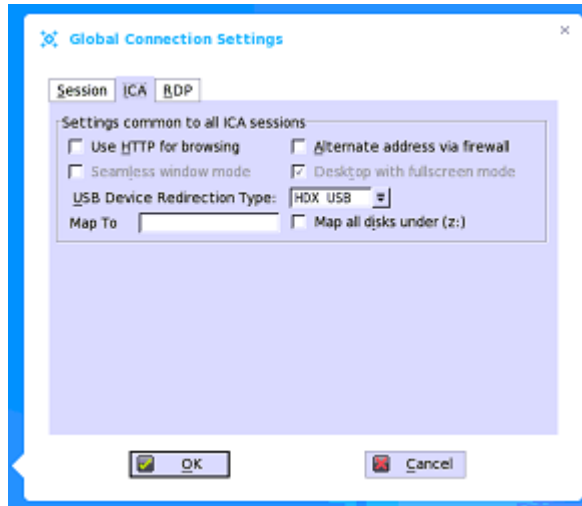
接続した USB メモリへの自動接続で [Disks] チェックボックスを使用する場合は、次の注意事項に従ってください。

- VFAT ファイル システムのみサポートされています。使用する USB メモリが FAT16 または FAT32 でフォーマットされていることを確認してください。
- 同時に複数のディスクを使用できますが、USB メモリの最大数 (異なるサブエリアを含む) は 12 です。
- サーバには、Windows XP、Windows Server 2003、または Windows Server 2008 の使用が推奨されています。
- USB メモリを取り外す前に、すべてのデータを保存し、USB メモリをマッピングするセッションからログオフしてください。

## [ICA] タブ

図 2-3 に [ICA] タブを示します。

図 2-3 ICA



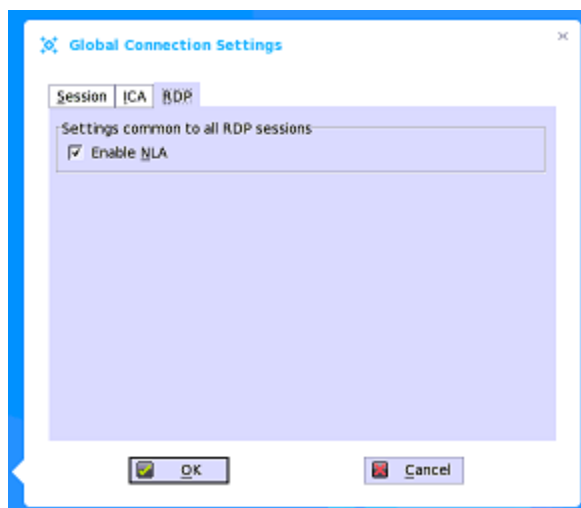
[ICA] タブを使用して、すべての ICA セッションで使用するオプションのチェックボックスを選択します。次の点に注意してください。

- [Map to] : ドライブを入力すると、そのドライブの下にディスクがマッピングされます。
- [Map all disks under (z:)] : 選択すると、Z ドライブの下にすべてのディスクがマップされます。

## [RDP] タブ

図 2-4 に [RDP] タブを示します。

図 2-4 RDP



[RDP] タブを使用して、Network Level Authentication (NLA) を有効または無効にします。NLA 認証方法では、完全なリモート デスクトップ接続を許可する前に、ユーザを確認します。

## その他の Cisco VXC デスクトップ機能

ここでは、次の内容について説明します。

- 「Cisco VXC インタラクティブ デスクトップのガイドライン」 (P.2-5)
- 「Cisco VXC ツールバー」 (P.2-6)
- 「接続のリスト」 (P.2-6)

## Cisco VXC インタラクティブ デスクトップのガイドライン

Cisco VXC デスクトップは、画面の左に Cisco VXC ツールバーが配置された、シスコのデフォルトの背景を持っています。

次のガイドラインに従ってください。

- (管理者によって) 表示するように設定されている場合には、現在の日付と時刻が Cisco VXC ツールバーに表示されます。







**ヒント** ゼロクライアントは、簡易ネットワーク タイム プロトコル (SNTP) サーバから提供される時刻に、自分のクロックを同期させることができます。

- Cisco VXC ツールバーを表示するには、Ctrl-Alt を押した状態で上矢印キーを押します。
- デスクトップと現在アクティブな接続を切り換えるための選択ボックスを開くには、Ctrl-Alt を押した状態で下矢印キーを押します。
- Ctrl-Alt と左矢印キーまたは Ctrl-Alt と右矢印キーを押すと、いつでもゼロクライアントをロックできます。
- キーボードショートカットがサポートされています。キーボードショートカットには、キーボードで左 Alt と下線付きの文字を使用します (右 Alt と下線付きの文字の組み合わせは、現在サポートされていません)。
- 左ボタンと右ボタンを入れ替えるには、[Peripherals] ダイアログボックスを使用します (「ペリフェラル」 (P.4-8) を参照)。
- ゼロクライアントは、標準の 2 ボタン マウスの他にホイール マウス (スクロールに使用) をサポートしています。他の同様なタイプのホイール マウスが、すべて動作するわけではありません。
- デスクトップ全体をキャプチャするには Print Screen、アクティブなウィンドウだけをキャプチャするには Alt を押した状態で Print Screen を押します。
- アプリケーションセッション間およびセッションとデスクトップ間でコピー アンド ペーストできます。ただし、この機能は、セッションサーバの設定に依存します。

## Cisco VXC ツールバー

通常は、Cisco VXC デスクトップの左端に Cisco VXC ツールバーが表示されます。ただし、管理者の設定によっては、ツールバーが削除または非表示（マウス ポインタをデスクトップ画面の左端に移動した場合にのみ表示）となっている場合があります。

表 2-1 ツールバー アイコン

アイコン	機能
Home 	使用可能な接続のリストを開きます（「 <a href="#">接続のリスト</a> 」(P.2-6) を参照）。
System Information 	ゼロ クライアントのシステム情報を表示します（「 <a href="#">システム情報へのアクセス</a> 」(P.2-2) を参照）。
System Settings 	ゼロ クライアントのシステム設定と診断を実行するための [System Settings] メニューを開きます（「 <a href="#">接続オプションの設定</a> 」(P.3-1)、「 <a href="#">ローカル設定オプションの設定</a> 」(P.4-1)、および付録 A 「 <a href="#">中央設定：更新と設定の自動化</a> 」を参照）。
Shutdown Terminal 	[Shutdown Terminal] アイコンをクリックすると、ゼロ クライアントで使用可能な [Shutdown] オプションを使用できます（「 <a href="#">ログオフとシャットダウン</a> 」(P.1-6) を参照）。[Admin Mode] ボタンを使用してシステム設定を行っている場合には、ツールバーに [Shutdown Terminal] アイコンが表示されません。

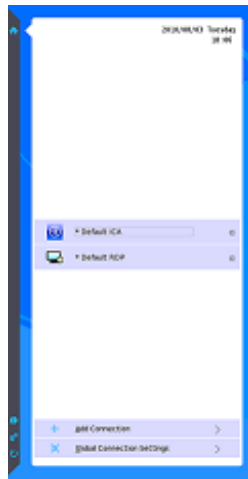


管理者は、ダイアログボックス（「[Remote Connections](#)」(P.3-7) を参照）を使用するか、または wnos.ini ファイル内の SysMode パラメータ（『*Cisco Virtual Experience Client 2112/2212 WTOS INI Files Reference Guide*』を参照）を使用して、ツールバーの設定を行うことができます。

## 接続のリスト




[Cisco VXC] ツールバーで [Home] アイコンをクリックすると、割り当てられた接続のリストを開くことができます（リストには、デフォルトの接続のみ含まれている場合があります）。

図 2-5 接続のリスト



次のオプションを使用します（ユーザの特権レベルによっては、使用できないオプションもあります）。

表 2-2 接続オプション

オプション	機能
接続の名前	使用するオプションを開きます（開いているすべての接続は、リスト内の接続名の左に青のアイコンで表示されます）。
[Restart] アイコン 	接続を再開します（接続が正しく機能していない場合、または接続をリポートする必要がある場合に役立ちます）。
[Quick Disconnect] アイコン 	接続を閉じます（開いていない接続に対しては、[Close] アイコンがグレイアウトされます）。
[Edit] アイコン 	接続オプションを変更するために、[Connection Settings] ダイアログボックス（「 <a href="#">ICA および RDP 接続の詳細</a> 」(P.3-11) を参照）を開きます（特権レベルによっては、編集オプションを使用できない場合があります）。
グローバル接続の設定	INI ファイルを使用してグローバル接続設定を提供しない場合は、[Global Connection Settings] をクリックして [Global Connection Settings] ダイアログボックスを開き、リスト内のすべての接続に影響を与える設定を行います（「 <a href="#">手動によるグローバル接続設定</a> 」(P.2-2) を参照）。

## その他のクラシック デスクトップ機能

ここでは、次の内容について説明します。

- 「[クラシック インタラクティブ デスクトップのガイドライン](#)」(P.2-8)
- 「[ショートカット メニュー](#)」(P.2-8)
- 「[デスクトップ メニュー](#)」(P.2-9)
- 「[Connect Manager](#)」(P.2-10)

## クラシック インタラクティブ デスクトップのガイドライン

クラシック デスクトップは、シスコのデフォルトの背景を持ち、画面の下部に水平にタスクバーが表示されます。デスクトップに表示できるアイコンの数は、デスクトップの解像度と管理者設定によって異なります。

次のガイドラインに従ってください。

- 使用可能なサーバ接続と公開済みアプリケーションを表すアイコンが、背景に表示されます。マウス ポインタをアイコンに合わせると、その接続に関する情報がポップアップ表示されます。アイコンを右クリック（または、マウス ボタンを反転した場合は左クリック）すると、[Connection Settings] ダイアログボックスが開き、接続に関する追加情報が表示されます。
- デスクトップ アイコンをダブルクリックしてサーバ接続/公開済みアプリケーションを開くか、または Tab キーを使用してデスクトップ アイコンに移動し、Enter を押して接続を開始できます。
- デスクトップ メニューは、デスクトップ背景上でマウス ボタンをクリックするか、またはタスクバー上のユーザ名をクリックすると開くことができます。
- (管理者によって) 表示するように設定されている場合、タスクバーの右端に音量コントロールが表示され、また時刻にカーソルを合わせると現在の日時が表示されます。



**ヒント** ゼロ クライアントは、簡易ネットワーク タイム プロトコル (SNTP) サーバから提供される時刻に、自分のクロックを同期させることができます。

- ウィンドウ表示モードを切り替えるには、Ctrl および Alt キーを押した状態で上矢印キーを押します。
- デスクトップ、Connect Manager、および現在アクティブな接続を切り換えるための選択ボックスを開くには、Ctrl および Alt キーを押した状態で下矢印キーを押します。
- Ctrl-Alt と左矢印キーまたは Ctrl-Alt と右矢印キーを押すと、いつでもゼロ クライアントをロックできます。
- キーボード ショートカットがサポートされています。キーボード ショートカットには、キーボードで左 Alt と下線付きの文字を使用します (右 Alt と下線付きの文字の組み合わせは、現在サポートされていません)。
- 左ボタンと右ボタンを入れ替えるには、[System Preference] ダイアログボックスを使用します ([System Preference] (P.4-2) を参照)。
- ゼロ クライアントは、標準の 2 ボタン マウスの他に Microsoft ホイール マウス (スクロールに使用) をサポートしています。他の同様なタイプのホイール マウスが、すべて動作するわけではありません。
- アプリケーション セッション間およびセッションとデスクトップ間でコピー アンド ペーストできます。ただし、この機能は、セッション サーバの設定に依存します。

## ショートカット メニュー

デスクトップを右クリックすると、次のオプションのあるショートカット メニューが表示されます。

- [Administrator Mode] : 管理者は、ゼロ クライアント上でローカルにさまざまな設定を行うことができます。
- [Hide all windows] : デスクトップ全体をフォアグラウンドにします。

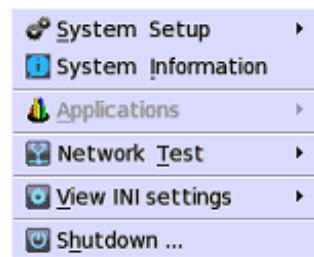


- [Copy to clipboard] : 画面全体のイメージ、現在のウィンドウ、またはイベント ログをクリップボードにコピーします。クリップボードの内容は、その後 ICA または RDP セッションに貼り付けることができます。
- [Purge clipboard] : クリップボードの内容を破棄し、メモリを解放します。
- [Group Sessions] : 4 つ以上の ICA または 3 つの RDP または 3 つの ICA シームレス セッションを開くことができます。セッションは、タスクバーにグループとして表示されます。
- [Lock Terminal] : ユーザがパスワードを使用してシステムにログオンすると、ゼロ クライアントをロック状態にします。同じパスワードを使用しないと、ゼロ クライアントのロックを解除できません。

## デスクトップ メニュー

ユーザ名（ユーザ名とはログインしているユーザの名前であり、その名前はタスクバーの左下部に表示されます）をクリックするか、またはデスクトップをクリックすると、デスクトップメニューが開き、次のオプションが表示されます（高特権ユーザまたは低特権ユーザのみ）。

図 2-6 デスクトップメニュー



- [System Setup] : 次のローカル システム セットアップ ダイアログボックスにアクセスできます。
  - [Network Setup] : DHCP の選択またはネットワーク設定の手動入力を行うことができ、またゼロ クライアントの動作に必須のサーバの位置を入力できます。低特権ユーザは、このメニューを選択できません。「[Network Setup](#)」(P.3-2) を参照してください。
  - [Remote Connections] : ICA、RDP、Citrix Xen、およびその他のブローカ サーバ接続を含めて、ゼロ クライアント ネットワーク接続を設定できます。「[Remote Connections](#)」(P.3-7) を参照してください。
  - [Central Configuration] : ファイル サーバ設定やオプションの VXC Manager サーバ設定など、ゼロ クライアントの中央サーバ接続設定を行うことができます。「[Central Configuration](#)」(P.3-10) を参照してください。
  - [WAN Setup] : ゼロ クライアントの WAN を設定できます。
  - [System Preference] : 個人設定に関連するゼロ クライアント パラメータを、ユーザが選択できます。「[System Preference](#)」(P.4-2) を参照してください。
  - [Display] : モニタ解像度とリフレッシュ レートを設定できます。「[表示](#)」(P.4-5) を参照してください。
  - [Peripherals] : キーボード、マウス、音量、およびタッチ スクリーンなど、ペリフェラル設定を選択できます。「[ペリフェラル](#)」(P.4-8) を参照してください。
  - [Printer] : ゼロ クライアントに接続されたネットワーク プリンタとローカル プリンタを設定できます。「[プリンタ](#)」(P.4-12) を参照してください。
- [System Information] : ゼロ クライアントのシステム情報を提供します。「[システム情報へのアクセス](#)」(P.2-2) を参照してください。

- [Applications] : ローカルに設定されたすべてのアプリケーションが含まれ、PNLite または PNAgent を使用してユーザがログオンすると、公開済みアプリケーションから値が入力されます。
- [Network Test] : サブメニューが開き、そこから Ping ツールおよびトレース ルート ツールを使用して、ネットワーク接続の整合性をチェックできます。「ping の使用」(P.5-3) と 「トレース ルートの使用」(P.5-4) を参照してください。
- [View INI Settings] : サブメニューが開き、そこから wnos.ini ウィンドウと user.ini ウィンドウを開いて、ファイルの内容を表示できます。「System Tools」(P.5-2) を参照してください。
- [Shutdown] : [Shutdown] ダイアログボックスが開きます。「ログオフとシャットダウン」(P.1-6) を参照してください。

## Connect Manager

タスクバーの [Connect Manager] をクリックすると、[Connect Manager] が開きます。[Connect Manager] には、接続エントリのリスト、および接続で使用できるコマンド ボタンのセットが表示されます。



ヒント

非特権ユーザは、[Connect Manager] を表示できません。

図 2-7 Connect Manager



使用できるコマンド ボタンはユーザの特権および管理者の設定によって異なります。一般的に、デフォルトは次の例のようになります。

- 高特権ユーザ : [Connect]、[New]、[Settings]、および [Sign-off] が含まれます
- 低特権ユーザ : [Connect]、[Settings]、および [Sign-off] が含まれます
- スタンドアロン ユーザ : [Connect]、[New]、[Settings]、および [Sign-off] が含まれます



ヒント

管理者が設定している場合 (user.ini/wnos.ini ファイルの enablelocal=yes)、高特権ユーザと低特権ユーザは、[Sign-off] コマンド ボタンの代わりに [Delete] コマンド ボタンを使用できます。

また、これらのコマンド ボタンに関連する用途も、ユーザの特権によって異なります。たとえば、[Settings] の場合、高特権ユーザは接続定義を表示および編集できますが、低特権ユーザは接続定義の表示のみ行うことができます。



ヒント

ゲスト ユーザの特権は、管理者によって決定されます。

Connect Manager のコマンド ボタンには、次のものがあります。

- [Connect] : 接続を行うには、リストから接続を選択して [Connect] をクリックします。
- [New] : [New] をクリックすると、[Connection Settings] ダイアログボックスが開きます。直接開く場合と、新しい接続定義を作成する [Connection Protocol] メニューを選択して開く場合があります ([Connection Settings] ダイアログボックスの詳細については、「ICA および RDP 接続の詳細」(P.3-11) を参照してください)。新しくローカルに定義された接続は、接続リストに追加されます。次の事項に注意してください。
  - 高特権ユーザ : 一般に、ローカルに定義されたすべての接続定義は一時的なものであり、ユーザがログオフしたとき、およびゼロ クライアントが再起動またはシャットダウンしたときには失われます。ただしそのような場合でも、管理者が設定 (enablelocal=yes) している場合は、ローカルに定義された接続定義を保存できます。
  - スタンドアロン ユーザ : ゼロ クライアントを再起動またはシャットダウンしても、ローカルに定義された接続が維持されます (個別のログインは存在しません)。ネットワーク設定は、ローカルに行う必要があります。
- [Properties] : [Properties] をクリックすると、選択した接続に対する [Connection Settings] ダイアログボックスが開きます ([Connection Settings] ダイアログボックスの詳細については、「ICA および RDP 接続の詳細」(P.3-11) を参照してください)。次の事項に注意してください。
  - 高特権ユーザ : 現在選択されている接続の定義を表示および編集できます。ユーザがログオフすると、編集内容が恒久的に保持されるわけではありません。
  - 低特権ユーザ : 接続の作成と編集は実行できません。ただし、接続定義を表示することはできます。
  - スタンドアロン ユーザ : 永続的な接続を恒久的に変更できます (PNAgent/PNLite サービスの使用時を除く)。
- [Sign-off] : ゼロ クライアントからログオフするには、[Sign-off] をクリックします。
- [Delete] : 接続を削除するには、リストから接続を選択して [Delete] をクリックします。
- [Reset VM] : 仮想接続をリセットするには、リストから仮想接続を選択して [Reset VM] をクリックします。
- [Global Connection Settings] : INI ファイルを使用してグローバル接続設定を提供しない場合は、[Global Connection Settings] をクリックして [Global Connection Settings] ダイアログボックスを開き、リスト内のすべての接続に影響を与える設定を行います (「手動によるグローバル接続設定」(P.2-2) を参照)。

